

## 学部 of 目的

豊橋技術科学大学学則（抜粋）

第2条 本学に，工学部を置く。

2 工学部に次の課程を置く。

課 程 名	目 的
機械工学課程	機械工学課程では，機械工学の基盤となる力学，制御，システム工学，材料工学，生産加工，エネルギー変換学等の諸学問について基礎的知識を有し，それらの知識を生産技術（ものづくり）に展開できる意欲と能力を持った実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者，持続的発展可能型社会に貢献できる挑戦的技術者を養成する。
電気・電子情報工学課程	電気・電子情報工学課程では，電気・電子工学分野の発展を支える電子電気材料やエネルギーシステムなどの基盤技術分野や，集積化した電子デバイスやセンサー分野，無線通信システムや情報ネットワークなどの情報通信技術分野で活躍できる実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者，持続的発展可能型社会に貢献できる挑戦的技術者を養成する。
情報・知能工学課程	情報・知能工学課程では，次世代の高度・大規模情報システムを構築するための技術及び人間の知能処理のメカニズムと応用などの技術を修得し，指導的・先導的に企画・設計・開発・保守管理まで，基礎技術に裏付けされた，あらゆる産業分野において先端情報システムのアイデアの創造から情報システム構築・運営までを担うことのできる実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者，持続的発展可能型社会に貢献できる挑戦的技術者を養成する。
環境・生命工学課程	環境・生命工学課程では，環境科学，生命科学・物質科学分野に関する基礎的知識を持ち，それらの知識を専門として深めることにより次世代を支える技術として展開できる意欲と能力を持った実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者，持続的発展可能型社会に貢献できる挑戦的技術者を養成する。

建築・都市システム学 課程	建築・都市システム学課程では，都市・地域の建築・社会基盤施設及びそれらを取りまく環境を，将来を見据えてデザインするとともに，それらをシステムとしてマネジメントするための能力を有する実践的技術者の養成を目指す。そのために，建築分野と社会基盤分野の専門技術をバランスよく修得し，人文・社会科学的な知識も備え，それらを社会問題の解決に応用できる実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者，持続的発展可能型社会に貢献できる挑戦的技術者を養成する。
------------------	--